

T O K Y O X協会会長に㈱ミートコンパニオン植村常務

TOKYO X-Association は五月二十九日に開催した、平成二十九年
度定例総会において、役員の変更を行った。それにより選任された役員
は次の通りである。(敬称略)

◎会長 植村光一郎・㈱ミートコンパニオン常務取締役。

◎副会長・監事 道下泰治・㈱三越伊勢丹フードサービス外販統括部
外販事業部長兼水産・畜産部長。

◎理事 川原昭広(合)西友ローマテリアルソーシングダイレク
ター。▽北村陽三・㈱セントラルフーズ生産統括部原料部部长。▽小林
和人・㈱大多摩ハム小林商会代表取締役社長。▽佐藤進一・㈱京王ブラ
ザホテル八王子事業部総料理長。▽中村敏章・㈱人形町今半精肉惣菜部
部長。

◎幹事・書記長 小石伸市・㈱ミートコンパニオン執行役員。

◎幹事・書記 小石隆二・㈱ミートコンパニオンミートパッカー部製
造課課長。

◎幹事・書記・事務局 小林直樹・㈱ミートコンパニオンミートパッ
カー部課長代理。

栃木県養豚協会六月二十二日第八回通常総会を開催

栃木県養豚協会は平成二十九年六月二十二日、午後三時より、栃木県
宇都宮市・ホテル ニューイタヤにおいて、平成二十九年・第八回通
常総会を開催する。

第八回通常総会において、①平成二十八年度事業実績及び収支決算に
ついて、②平成二十九年事業計画及び収支予算について(案)、③平
成二十九年会費の決定及び徴収方法について(案)、④役員の変更に
ついて(案)の一、四号議案について、審議が行われる。

第八回通常総会終了後、感謝状の贈呈と二題の記念講演が行われる。
感謝状の贈呈は、豚オーエスキー病の撲滅に関して、栃木県家畜保健
衛生所芝田周平所長に対し、行われる。

記念講演の演題と講師は、①豚オーエスキー病清浄化の経緯(仮題)

Ⅱ栃木県家畜保健衛生所芝田周平所長。②養豚経営におけるPRRS
コントロール(仮題)Ⅱ日清丸紅飼料㈱総合研究所矢原芳博氏。

T O K Y O X協会平成29年度定例総会四号議案承認

TOKYO X-Association (会長＝㈱ミートコンパニオン植村光一郎常務取締役)は五月二十九日、午後三時より、東京都八王子市・京王プラザホテル八王子において、平成二十九年定例総会を開催した。

平成二十九年定例総会では、植村会長のあいさつ。清水孝治東京都議会議員、日本畜産物輸出促進協議会菱沼 毅理事長、(公社)中央畜産会南波利昭副会長、(一社)日本養豚協会倉本寿夫専務理事の来賓あいさつの後、議長に植村会長が選任され、議事が行われた。議事では、事務局より提出された①平成二十八年度事業報告、②平成二十九年事業計画(案)及び収支予算(案)、③役員の変更、④その他―の―号議案について審議が行われ、原案通り承認された。

平成二十九年定例総会終了後、北海道の㈱マノス平林英明代表取締役の「北海道のフリーレンジ豚肉『どろ豚』の挑戦」と題した講演と記念対談が行われた。

T O K Y O X協会平成29年度事業計画について

TOKYO X協会は別項のように開催した、平成二十九年定例総会において、平成二十九年度の事業計画を承認した。それによると、平成二十九年事業計画の項目は次の通りである。

- ① 共同生産出荷に関する協議。
- ② 流通、販売等の検討及び実施。
- ③ 枝肉目会わせ会の実施。
- ④ トレーサビリティ検討委員会会議の実行。
- ⑤ 積極的な認知活動の実施。
- ⑥ TOKYO Xを通しての食育事業参加。
- ⑦ TOKYO Xを通してのアグリネイチャー事業参加。
- ⑧ 地産地消支援事業参加。
- ⑨ 生産拡大委員会の実施。
- ⑩ 農場HACCPの研究會参加。
- ⑪ 東京オリンピック・パラリンピック対策協議委員会の実施。
- ⑫ インバウンド対応の情報発信と海外イベント事業への参加。
- ⑬ 記念出版物の発行準備委員会の結成。